

モニターレポート (2月報告)

【報告内容①】

・灰塚付近の中洲に何千羽という白鳥がいたので驚きました。以前、通勤時、大阿賀橋を通過する何秒かで、限られた白鳥しか見ていなかったのが、阿賀野川にあんなに白鳥が来るとは知りませんでした。

・河川敷の積雪に白鳥が何百mか歩いたと思える足跡が残っているのを初めて見ました。新鮮でとても可愛らしく、親近感が湧き、興味深かったです。阿賀野川の環境の良さが白鳥の姿に繋がっていること、阿賀野川の看板に白鳥が描かれている意味が強く実感できました。

・対岸の巨大クレーン2、3機をいつも見ていました。今回、その付近まで行ってみました。思いの外、工事区間が長く、大規模で従事者も多くて驚きました。資料を見直し、その工事が「蔵岡他堤防浸透対策工事」で浸透対策290m、築堤880m、被害人口約60,000人の市民、被害総額1,900億円を守る為の工事だと、確認しました。私には、阿賀野川をじっくりと見る時間的余裕と載いた資料もあり、一つ一つの工事の目的、意味を知ることができるので有り難いです。が、他の人たちは、この事実をどのくらい知っているのでしょうか。私もモニターでなかったら、知らないまま終わるところだったと思います。無知の知、ではありませんが、モニターになって、阿賀野川について知る機会を与えていただき、本当によかったと思っています。

・胡桃山出張所～JR白新線鉄橋の河川敷を、除雪もされてない中、長靴とストック2本でスポーツウォーキング？というのでしょうか、されている人がいました。白鳥と同様、阿賀野川に行きたくなるような環境を作り、守って下さっている河川事務所の皆様のお仕事に敬意を表します。

・小杉の川面にまた流れの筋を3本くらい見つけ、あの辺りに矢板があるのだろうなと思っています。その付近に、点々と20～30個くらいの小さい物が見えました。ゴミか木かと最初、思ったのですが、動きません。ベーン工法による物？何かの目印？勝手に予想しています。

・毎回、活動報告書に対して、丁寧なコメントを有難うございます。先月、船上からの「深淺測量」作業について教えていただき、大変勉強になりました。と同時に、あの寒い時期に、小型船で作業することの危険度を考えると頭が下がります。この作業は、定期的に行われているのだろうと思いますが、安全に留意していただきたいと、切に思いました。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

今冬は、例年にない大雪から管内堤防道路でも数日圧雪状態が続くなど路面状態は悪く、凍結等から転落車両も散見されました。

また新潟市及び阿賀野市では、市内の排雪作業で発生した雪の雪捨て場として一部、河川敷を許可しておりましたが何れも、持ち込み量が多量であることから、当初予定していた区域では収まらなくなるなど3月に入った今も完全に消雪していません。

さて、当事務所発注の工事も3月末で完成時期を向かえています。小杉地区の工事ですが、川面で点在していた「小さな物」ですが受注業者に確認したところ工事区域に誤って漁船等が侵入しないよう目印(ウキ)を設置していたとのことでした。またベーン工法での工事は、管内では灰塚地先のみとのことでした。(看板あり)

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。

モニターレポート (2月報告)

【報告内容②】

2月20日(火)の午前8時20分から阿賀野川床固め公園を拠点に担当区域を観察しました。

1月、2月の大雪で阿賀野川床固め公園内に辛うじて辿り着きました。こちらから観察しました。

空で鳥が鳴いているだけで、辺り一面は雪でした。雪が多く振り水量が多かったので、阿賀野川全体の水量も多く床固め付近床固めにはいつも以上に川水が強く当たっていました。

満願寺閘門付近の理由は分かりませんが、川の水は澱んでいました。雪で河川敷一帯や川辺付近の不法投棄のゴミ類の観察は出来ませんでした。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

今冬の度重なる大雪で堤防道路の路面は圧雪・凍結等で大変ではなかったでしょうか？降雪量は、平年に比べて大雪となりましたが、3月に入り消雪が進み河川敷内の雪捨て場を除きほぼ消えています。堤内(田畑)圃場では、これから春耕作業の準備が始まるものと思われます。

観察報告を頂きました阿賀野川床固公園付近の水量ですが、これから春の雪解けが進むにつれ流速・流量とも増すものと思われます。またゴミの不法投棄回収状況ですが、当月は積雪等から堤防内への車両進入が出来ないこともあり回収量は少なくなっています。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。

モニターレポート (2月報告)

【報告内容③】

・平成の年号最後の平成30年に入り、1月は11～13日、更に、24日～26日と連日の大雪と大寒波、この2月は7日～9日、更に、11日～13日と相次ぐ大雪と寒波に襲われ、23年振りの豪雪となり、連日の除雪作業や雪中運転などで、雪国・新潟の我々は疲労困憊状態です。

・今日17日から再び週末寒波が襲ってくるという予報やエルニーニョ現象で2月末迄は雪模様の天気が続くという予報なので、今日は仕事で阿賀の里まで行ったものの、強風と吹雪でライン舟下りが午前中に運休となった帰路に、今のうちに阿賀野川河川パトロールをしなければと思い立ち積雪用の重装備をして河川巡視を実施しました。巡視コースは、阿賀浦橋から右岸上流の千唐仁を経て工事中の都辺田川迄と上流を目指しましたが、ただ堤防道路両側に雪が高く積まれ悪路だけであったので、海老鹿まで行き引き返した。途中、分田付近の河川敷内に大規模な雪捨て場を発見し、今冬は豪雪のため例年より随分高く雪捨ての山が築かれておりました。(管内にはどれ程の雪捨て場があるのでしょうか?)

次に、阿賀浦橋手前から羽越本線阿賀野川橋梁下をぐり、右岸下流へ向かおうとしたが、道路除雪がされてなく、やむなく、京ヶ瀬工業団地内道路を経て阿賀野川きょうがせ防災ステーション脇の道路から堤防道路のNo.168地点に上がりました。No.168付近から上流の阿賀浦橋迄は冬期除雪しないという看板があり、その堤防道路上にはかなりの積雪がありました。阿賀野川きょうがせ防災ステーション前の堤外地側では、強風と吹雪の中、河床先堀ブロック工事や羽越本線阿賀野川橋梁ブロック製作据付関連工事が行われておりました。

それから、管内下流部のNo.157付近まで行き阿賀浦橋まで工業団地経由で引き返しました。

途中、幾度かラッセルして河川敷内へ入ってみようと思いましたが、雪壁と積雪量が多いため困難と判断し巡視を諦めました。

帰路・阿賀浦橋を渡っている時、一方交通規制で渋滞していたので、ふと阿賀野川鉄橋の橋台が低いうえに橋台の数が多い(その分スパンが短い)ことに気がきました。古い時代の鉄道橋なので、難工事にならざるをえないものと理解しました。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。

報告にあったとおり、1月から2月と度々の寒気の襲来で交通マヒや断水などの被害が発生しました。当出張所管内の工事現場では通勤に支障が出たり道路除雪に人手がとられたり現場内の除雪もままならない状態になり、2月の第二週から第三週の約二週間にわたり作業が出来ず現在その遅れを取り戻すべく鋭意工事を進めているところです。ただし、焦りなどから事故が発生しないよう安全には十分配慮して工事を進めております。報告でも触れられていましたが、気象台の予報で今年の冬はラニーニャ現象が発生しているため、冬型の気圧配置になりやすく雪が多くなるという予想もありました。当たって欲しくないと思っていたのですが、当たってしまいました。

今回はこの様な大雪の中、阿賀浦橋～海老鹿樋門、阿賀野川防災ステーション～出張所管理境のNo. 157付近まで巡視を行っていただきありがとうございました。

・管内の雪捨て場の数について質問がありました。申請者は現在阿賀野川に隣接している新潟市、阿賀野市となっており、許可に当たっては、河川敷に堆雪されていることが想定される12月～4月の過去の最大流量で水位を算定し(当所では至近5ヶ年での最大流量で水位を算定)、雪捨て申請箇所在地盤高が水位より高く出水に影響がないことが確認された箇所について許可をしております。阿賀野川河川事務所管内の雪捨て場は新潟市3箇所、阿賀野市3箇所の計6箇所となっております。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。

モニターレポート (2月報告)

【報告内容④】

2月23日15時頃から
阿賀浦橋～下条大橋まで確認してきました。
晴れ 気温5度

路面状況良好

道路上、周囲には、不法投棄などは見つかりませんでした。
降雪・圧雪・除雪のためと思われるが、阿賀浦橋～水辺プラザまでの区間で新潟市と記載の反射材付きのポールが多く傾いていました。中には完全に倒れている物もありました。

阿賀野川の雪捨て場を堤防道路上から目視した所、あまりの広い範囲で
大変驚きました。

【事務所からのコメント】

日頃より河川愛護モニター活動にご協力頂きありがとうございます。
今回は、阿賀浦橋～下条大橋までを巡視いただきいただきありがとうございました。

・道路上、周囲には、不法投棄は見つからなかったとのとでした。
例年3月から4月の引っ越しが多い時期になりますと不法投棄が多くなる傾向がありますので、河川巡視などで取り締まりを強化していきたいと思えます。

・降雪、圧雪、除雪のためと思われる、新潟市と記載の反射材付きのポールが多く傾いていたというご報告がありました。降雪期になりますと、そのほか道路除雪などにより路肩がえぐられたりしています。これらについては、降雪期が過ぎたら道路管理者の方で毎年補修を行っています。

今年は「ラニーニャ現象の影響から、日本海側で冬型の気圧配置になりやすくなる」と言う予報が当たり、寒い日が続いております。3月にはだいぶ積雪が減ると思われていますが、大雪だったせいもあり高水敷は雪が残っているところもありますので、無理せず安全第一で巡視の方お願いしたいと思います。

お気づきの点がありましたらご連絡下さい。引き続きよろしく願いいたします。